

平成29年度 社会資本整備総合交付金事業 公共下水道管渠埋設工事 1 工区(補助分)

数量計算書

管径 路線番号

φ 200 箕輪町 三日町 田中城地区 町道、国道乗入部(開削)

793-2

L= 44.00 m

内径 200 下水道用硬質塩化ビニール管

上段: 変更

下段:当初

管路延長	管渠延長	基礎延長	管 材 料		付 帯 工		本 管 土 工										埋 戻 工					残 土 処 分 工					
			FRP管		舗装切斷工	舗装版取り壊し工	As殻処分工		掘 削 工			砕 石 基 礎 工			砕石埋戻工(管上10cm～30cm)			発生日埋戻工(管上10cm～30cm)			埋 戻 工			残 土 処 分 工			
			直 管	可 撓 継 手 上 流	可 撓 継 手 下 流	Asフאלト t=20cm迄	Asフאלト t=10cm迄	Asフאלト t=35cm迄	Asフאלト t=10cm迄	Asフאלト t=35cm迄	機 種 0.28B.H	機 種 0.45B.H	機 種 0.80B.H	投入機種 0.28B.H	投入機種 0.45B.H	投入機種 0.80B.H	投入機種 0.28B.H	投入機種 0.45B.H	投入機種 0.80B.H	発生日 0.28B.H	発生日 0.45B.H	発生日 0.80B.H	発生日砕石 0.28B.H	再生砕石 0.28B.H	砕 石 0.80B.H	0.28B.H積込	0.45B.H積込
m	m	m	本	箇所	箇所	m ²	m ²	m ³	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ³	m ³	m ³	
44.00	43.55	43.47	10.89		1	88.0	41.8		1.7	96.2			15.3				8.3		55.9						24.8		
44.0	43.6	43.5	10.9		1					96			15.3				8		56						25		

建 込 簡 易 土 留 工									
シ ン グ ル レ ー ル							ダ ブ ル レ ー ル		
H=1.5m	H=2.0m	H=2.5m	H=3.0m	H=3.5m	H=4.0m	H=4.5m	H=5.0m	H=5.5m	H=6.0m
m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
			44.00						
			44.0						

付 帯 工															
国道 A5舗装 歩道及び乗入部						町道アスファルト舗装									
表 層 工	路面補修工	上層路盤工	下層路盤工	路 盤 工	路 盤 工	表 層 工	路面補修工	上層路盤工	下層路盤工	砂利道	舗装切替工	舗装取壊工	A5段畑分工		
再生密粒 t=5cm	t=2cm	M40-0 t=15cm	RC40-0 t=30m	RC40-0 t=35cm	RC40-0 t=35cm	AS20F t=4cm	M25-0 t=10cm	M25-0 t=10cm	RC40-0 t=25cm	RC40-0 t=35cm	アスファルト t=20cm迄	A5 舗装 t=10cm迄	A5 舗装 t=20cm迄	A5 舗装 t=10cm迄	A5 舗装 t=35cm迄
m ²	m ²	m ²	m ²	m ³	m ³	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ³	m ³
4.0		2.5	2.5			153.2		39.3	39.3		5.2	115.5		4.7	

加重平均 深										
			2.34							2.34

[illegible][illegible]

小口径マンホール(共同樹設置)				
立管長 300mm		防護蓋 T-14	防護蓋 T-25	その他 部材等
(m)	(箇所)	(組)	(組)	小口径マンホール 数量表による

[illegible]

付 帯 工 集 計（本 管 部 と 取 付 管 部 と 影 響 部）																	
舗装切断工 アスファルト		舗装版取り壊し工		As級処分工		投 入 料 等	表 層 工	上層路盤工	下層路盤工	表層工	上層路盤工	下層路盤工	砂利道	埋設表示シート		埋設表示テープ	
t=20cm迄 m	t=35cm迄 m	AS 舗 装 t=10cm迄 ㎡	AS 舗 装 t=20 cm 迄 ㎡	AS 舗 装 t=10cm迄 ㎡	AS 舗 装 t=35cm迄 ㎡	アスファルト 塊 処 分 費 t	再生密粒 t=5cm ㎡	再生細粒 t=3cm ㎡	M40-0 t=15cm ㎡	RC40-0 t=30cm ㎡	As20F t=4cm ㎡	M25-0 t=10cm ㎡	RC40-0 t=25cm ㎡	RC40-0 t=35cm ㎡	巾40cm m	巾15cm m	巾30cm m
93.20		157.30		6.40		15.0	4		2.50	2.50	153.2	39.3	39.30		2.07		2.07
93		157		6		15	4		3	3	153	39	39		2		2

[illegible]

(土工数量調査) 平成29年度 社会資本整備総合交付金事業 公共下水道管渠埋設工事 1 工区(補助分)

内径 200 mm下水道用硬質塩化ビニール管																																	備 考	
路 線 番 号	人 孔 番 号		路 線 延 長	人 孔 外 径 の 減 長	基 礎 延 長	掘 削 溝 幅	掘 削 深			付 帯 工				土 工																				
										As舗装		舗装版取壊し工		As 設 処 分 工		掘 削 工			砕 石 基 礎 工			砕石埋戻工(管上10cm～30cm)			発生土埋戻工(管上10cm～30cm)			埋 戻 工						残 土 処 分 工
	切断工						アスファルト	アスファルト	アスファルト	アスファルト	機種	機種	機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	発生土	発生土	発生土	発生砕石	再生砕石	砕 石	積込機種	積込機種	積込機種			
	t <20 cm	t =30 cm					t=10 cm迄	t=35 cm迄	t=10 cm迄	t=35 cm迄	0.28B.H	0.45B.H	0.80B.H	0.28B.H	0.45B.H	0.80B.H	0.28B.H	0.45B.H	0.80B.H	0.28B.H	0.45B.H	0.80B.H	0.28B.H	0.45B.H	0.80B.H	0.28B.H	0.45B.H	0.80B.H	0.28B.H	0.45B.H	0.80B.H	0.28B.H		0.45B.H
No.	No.	No.	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m2	m2	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	m3	
793-2	管止め	舗装界	41.40		41.40	0.95	2.01	2.66	2.34	82.8		39.3		1.6		90.5			14.6						7.9			52.9				22.9		町 道
793-2	舗装界	810-1	2.60	0.53	2.07	0.95	2.01	2.66	2.34	5.2		2.5		0.1		5.7			0.7						0.4			3.0				1.9		国 道 乗入部
					</																													

平成29年度 社会資本整備総合交付金事業 公共下水道管渠埋設工事 1 工区(補助分)

[illegible]

(舗装数量調書)

平成29年度 社会資本整備総合交付金事業 公共下水道管渠埋設工事 1 工区(補助分)

[illegible]

建て込み簡易土留め工

(L = 3.00 m)

(軽量型)

1) 設 計 条 件

1. 管 径 200 mm 2. 管 種 リブ付管 3. 施工延長 44.00 m
4. 掘削方法 BH-0.28 5. 掘削幅 0.95 m 6. 掘削深 2.34 m
7. 土 質 (粘性土・レキ混じり土) 8. 締切延長 30.00 m
9. トラッククレーン規格 4.9 t 吊り

日数算出根拠 30.00m当り

2) 施工時間

1. 掘削時間の算定 (D1) = (L × W × H) ÷ Q

(D1) = (2.34 - 1.00) m × 0.95 m × 30.00 m ÷ 67.00 m³/日 = 0.57 日 ①

2. 建て込み簡易土留建て込み時間の算定 (D2)

(D2) = (0.22 ÷ 10.00 m) × 30.00 m = 0.66 日 ②

掘削工合計日数 ①+②

1.23 日

3. 基 礎 工 (D3)

基礎土量 = (0.95 m × 0.406 m - 0.033 m²) × 30.00 m =

(D3) = 10.58 m³ / 33.0 m³/日 =

4. 管布設工 (D4) (管 種 : リブ付管)

(D4) = 30.00 × 0.020 人/ m/日 = 0.6 日 ④

5. 引抜き埋戻し工 (D5) (機 械 転 圧 部 分)

埋戻し土量 = 30.00 m × (2.34 m - 1.406 m) × 0.95 m = 26.62 m³

(D5) = 26.62 m³ ÷ 33.00 m³/日 = 0.81 日 ⑤

工 程 表

日 数	5	10	日 数
工 種			
掘削及び建て込み工	1.23		1.23
基 礎 工	1.07 1.39		0.32
管 布 設 工	1.23 1.83		0.60
引抜き及び埋戻し工	1.23 2.04		0.81
水 替 え 工			0.92

損 料 日 数 計 = 44.00 m ÷ 30.00 m × 2.23日 = 3.27日 × 1.3 = 4.25
≒ 4 日

10.58 m³ 水 替 日 数 計 = 44.00 m ÷ 30.00 m × 0.92日 = 1.35日 × 1.3 = 2 日

0.32 日 ③ 全 体 日 数 = 44.00 m ÷ 30.00 m × 日

(人孔数量調査) 平成29年度 社会資本整備総合交付金事業 公共下水道管渠埋設工事 1 工区(補助分)

[illegible]

平成29年度 社会資本整備総合交付金事業 公共下水道管渠埋設工事 1 工区(単独分)

数量計算書

管径 路線番号

φ200 箕輪町 三日町 田中城地区 町道(開削)

793-2

L= 6.00 m

内径 200 mm下水道用硬質塩化ビニール管

下段:当初

管路延長	管渠延長	基礎延長	管 材 料			付 帯 工		本 管 土 工																								
			塩化ビニール管			舗装切斷工	舗装版取り壊し工	As処分工		掘 削 工			砕 石 基 礎 工			砂埋土工(管上10cm～30cm)			発生土埋土工(管上10cm～30cm)			埋 戻 工			再生埋土工			残 土 処 分 工				
			直 管	可 挽 継 手 上 流	可 挽 継 手 下 流	Asファルト	Asファルト	Asファルト	Asファルト	Asファルト	機 種	機 種	機 種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	発生土	発生土	発生土	運搬4km	運搬4km	運搬4km	0.28BH積込	0.45BH積込	0.8BH積込
						t=20cm迄	t=10cm迄	t=15cm迄	t=10cm迄	t=15cm迄	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
m	m	m	本	箇	個																											
6.00	5.55	5.47	1.39	1		12.0	5.7		0.2		13.1			1.9					1.0			7.7							3.4			
6.0	5.6	5.5	1.4	1						13			1.9						1			8							3			

建 込 簡 易 土 留 工									
シ ン グ ル レ ー ル							ダ ブ ル レ ー ル		
H=1.5m	H=2.0m	H=2.5m	H=3.0m	H=3.5m	H=4.0m	H=4.5m	H=5.0m	H=5.5m	H=6.0m
m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
			6.00						
			6.0						

付 帯 工															
県道 仮復旧					町道アスファルト舗装										
表層工	路面補修工	上層路盤工	下層路盤工	路盤工	路盤工	表層工	路面補修工	上層路盤工	下層路盤工	砂利道	舗装切替工	舗装取壊工		As級処分工	
再生粗粒 t=5cm	t=2cm	M25-0 t=15cm	CF40-0 t=25cm	RC40-0 t=15cm	RC40-0 t=15cm	AS20F t=5cm	M25-0 t=10cm	M25-0 t=10cm	RC40-0 t=25cm	M25-0 t=5cm	アスファルト t=20cm迄	AS舗装 t=10cm迄	AS舗装 t=15cm迄	AS舗装 t=10cm迄	AS舗装 t=15cm迄
m ²	m ²	m ²	m ²	m ³	m ³	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m	m ²	m ²	m ²	m ³
						18.0		5.7	5.7			12.3			0.5

加重平均 深									
			2.34						2.34

1 号 組 立 マ ン ホ ー ル 材 料																										
人 孔 鉄 蓋		調整モルタル工		調 整 リ ン グ			斜 壁			直 壁								躯体 ブ ロ ッ ク								底 版
T-14	T-25	20mm	40mm	5cm	10cm	15cm	30cm	45cm	60cm	30cm	60cm	90cm	120cm	150cm	180cm	210cm	240cm	60cm	90cm	120cm	150cm	180cm	210cm	240cm		
組	組	箇所	箇所	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個		
1		1				1	1															1			1	

削孔費			ブロック据付工		底部工			副管工(外副管)						
本管部		取付管部	1.2<H	3.0m<H	標準	基礎のみ	インバートのみ	平均延長	設置数	取付管用片受け直管 150mm	可換継手支管 200×150 本	カラー管 150mm 本	曲管 150mm 本	砕石基礎 箇所当り ㎡
VU 150mm	PRP 200mm	VU 150mm	≤3.0	平 均										
箇所	箇所	箇所	箇所	m	箇所	箇所	箇所	m	箇所					
			1			1								

小口径マンホール				
立管長 200mm		防護蓋 T-14	防護蓋 T-25	その他 部 材 等
(m)	(箇所)	(組)	(組)	小口径マン ホール数量 表による

[illegible]

付 帯 工 集 計 (本 管 部 + 取 付 管 部 + 影 響 部)																	
舗装切断工 アスファルト		舗装版取り壊し工		As設処分工		投 入 料 等	表 層 工				表 層 工	上層路盤工	下層路盤工	砂 利 道	埋設表示シート	埋設表示テープ	
t=20cm迄 m	t=15cm迄 m	AS 舗 装 t=10cm迄 ㎡	AS 舗 装 t=15 cm 迄 ㎡	AS 舗 装 t=10cm迄 ㎡	AS 舗 装 t=15cm迄 ㎡	アスファルト 塊 処 分 費 t	再生粗粒 t=5cm ㎡				As20F t=5cm ㎡	M25-0 t=10cm ㎡	RC40-0 t=25cm ㎡	M25-0 t=5cm ㎡	巾40cm m	巾15cm m	巾30cm m
14.24		18.00		0.70		1.6					18.0	6.7	6.7				
14		18		0.7		1.6					18	7	7				

[illegible]

(土工数量調書) 平成29年度 社会資本整備総合交付金事業 公共下水道管渠埋設工事 1 工区(単独分)

[illegible]

(管渠数量調査) 平成29年度 社会資本整備総合交付金事業 公共下水道管渠埋設工事 1 工区(単独分)

[illegible]

(舗装数量調書)

平成29年度 社会資本整備総合交付金事業 公共下水道管渠埋設工事 1 工区(単独分)

[illegible]

建て込み簡易土留め工

(L = 3.00 m)

(軽量型)

1) 設計条件

1. 管 径 200 mm
2. 管 種 リブ付管
3. 施工延長 6.00 m
4. 掘削方法 BH-0.28
5. 掘削幅 0.95 m
6. 掘削深 2.34 m
7. 土 質 (粘性土・レキ混じり土)
8. 締切延長 6.00 m
9. トラッククレーン規格 4.9 t 吊り

日数算出根拠 6.00m当り

2) 施工時間

1. 掘削時間の算定 (D1) = (L×W×H) ÷ Q

(D1) = (2.34 − 1.00) m × 0.95 m × 6.00 m ÷ 67.00 m3/日 =

0.11 日 ①

2. 建て込み簡易土留建て込み時間の算定 (D2)

(D2) = (0.22 ÷ 10.00 m) × 6.00 m =

0.13 日 ②

掘削工合計日数 ①+②

0.24 日

3. 基礎工 (D3)

基礎土量 = (0.95 m × 0.406 m − 0.033 m²) × 6.00 m =

(D3) = 2.12 m³ / 33.0 m³/日 =

0.06 日 ③

4. 管布設工 (D4) (管 種 : リブ付管)

(D4) = 6.00 × 0.020 人/ 日/日 =

0.12 日 ④

5. 引抜き埋戻し工 (D5) (機 械 転 圧 部 分)

埋戻し土量= 6.00 m × (2.34 m − 1.406 m) × 0.95 m =

5.32 m³

(D5) = 5.32 m³ ÷ 33.00 m³/日 =

0.16 日 ⑤

工 程 表

日 数	5	10	日 数
工 種			
掘削及び建て込み工	0.24		0.24
基礎 工	0.21	0.27	0.06
管 布 設 工	0.24	0.36	0.12
引抜き及び埋戻し工	0.24	0.40	0.16
水 替 え 工			0.18

損 料 日 数 計 = 6.00 m ÷ 6.00 m × 0.44日 = 0.44日 × 1.3 = 0.57

≒ 0.6 日

2.12 m³ 水 替 日 数 計 = 6.00 m ÷ 6.00 m × 0.18日 = 0.18日 × 1.3 = 0.2 日

全体 日 数 = 6.00 m ÷ 6.00 m × 日

(人孔数量調書) 平成29年度 社会資本整備総合交付金事業 公共下水道管渠埋設工事 1 工区(単独分)

1号組立マンホール数量表 本管内径 200 mm下水道用硬質塩化ビニール管																																							
路線 番号	人孔 番号	人孔 深さ	組立 高さ	マ ン ホ ー ル				副 管		マ ン ホ ー ル 材 料																								備 考					
				現況地盤高	流入管底 高さ	流出管底 高さ	落差	副管 径	直管 長	底版	軀 体 ブ ロ ッ ク								直 壁 ブ ロ ッ ク								斜 壁			調 整 リ ン グ			調整モルタル工		蓋	削 孔			
											60 cm	90 cm	120 cm	150 cm	180 cm	210 cm	240 cm	30 cm	60 cm	90 cm	120 cm	150 cm	180 cm	210 cm	240 cm	30 cm	45 cm	60 cm	5 cm	10 cm	15 cm	20 mm	40 mm		11cm T-14	100 mm	150 mm	200 mm	
No.	No.	m	m	m	m	m	m	mm	m	個	個								個								個			個			箇所		枚	箇所			
793-2	793-2-1	1.90	1.96	663.27	661.388	661.368	0.020			1					1													1				1	1		1			1	底 部 工

(汚水柵及び取付管工集計表 町道路盤全面復旧部)
土留使用

平成29年度 社会資本整備総合交付金事業 公共下水道管渠埋設工事 1 工区(単独分)

名 称	規格寸法	計 算 式	数 量	名 称	規格寸法	計算式	数 量
鉄蓋(内蓋共)	重車用	取付管数量調書より	組	掘 削 工	油圧式0.20m3級B.H	6.32×1	6.3 m ³
鉄蓋(内蓋共)	軽車用	取付管数量調書より	組	砂基礎工	洗砂(投入機種0.20B.H)	1.42×1	1.4 m ³
標 準 蓋		取付管数量調書より	1 個	発生土 埋戻工管頂10cm～30cm	発生土	0.83×1	0.8 m ³
汚水柵(三方向流入タイプ)	横型φ200-150×100	取付管数量調書より	個	再生砕石埋戻工	RC40-0		m ³
汚水柵(三方向流入タイプ)	縦型φ200-150×100	取付管数量調書より	1 個	埋 戻 工	良質土		m ³
ゴム製可撓支管	コンパクト支管 φ200mm × φ150mm	取付管数量調書より	個	埋 戻 工	発生土	2.86×1	2.9 m ³
支管取付工	φ200mm×150mm	取付管数量調書より	箇所	残土処分工	一般土砂	2.22×1	2.2 m ³
自在曲管	SRφ150mm×45°～60°	取付管数量調書より	個	As舗装切断工	t<20cm	2.24×1	2.24 m
曲 管	SRφ150mm×90°(ST)	取付管数量調書より	1 個	舗装版取壊工	アスファルト		m ³
可撓継手	φ150mm用	取付管数量調書より	1 組	As殻処分工	油圧式0.35m3級B.H t=10cm迄		m ³
プレーンエンド直管	φ100mm L=4m	0.16	0.16 m	路面補修工	CR25-0 t=10cm		m ²
プレーンエンド直管	φ200mm L=4m	0.69	0.69 m	表 層 工	町道アスファルト舗装 t=5cm		m ²
取付管布設工	φ150mm	$4.94 \times 1+0$	4.94 m	上層路盤工	M25-0 t=10cm	1.01×1	1.0 m ²
取付管用片受け直管	φ150mm L=4m	$(4.94 \times 1+0) \div 4$	1.24 本	下層路盤工	RC40-0 t=25cm	1.01×1	1.0 m ²
				取 付 管 土 留 工	簡易土留 H=2.00	4.52×1	4.52 m

(取付管1箇所当たり数量計算調書 町道路盤全面復旧部)
土留使用

平成29年度 社会資本整備総合交付金事業 公共下水道管渠埋設工事 1 工区(単独分)

取付管数量調書より	
官地部平均掘削延長L	4.00m
平均水路幅W1	2.40m
本管平均掘削幅B/2	0.48m
本管平均掘削深H	2.34m
平均汚水桝深H1	1.40m
取付管勾配i	20‰
宅地部平均掘削延長L7	1.00m
本管平均土被りh	2.034m
取付管延長L4 $\sqrt{(H3^2+L3^2)}$	$\sqrt{(0.634^2+4.90^2)}=4.94\text{m}$
柵土工本管側掘削深H4 $H2+L5 \times i$	$1.50+4.42 \times 20\text{‰}=1.59\text{m}$
柵土工平均掘削深H5 $(H2+H4)/2$	$(1.50+1.59)/2=1.55\text{m}$

※ B2～B9は直掘(土留使用)となるため同一数値となる。

種 別	計 算 式	計 算	数 量
掘削工	$(B4+B9)/2 \times (H5-H6) \times L1$ $+(B4+B3)/2 \times H5 \times (L7+0.1)$	$(0.900+0.900)/2 \times (1.55-0.04) \times 3.52+(0.900+0.900)/2 \times 1.55 \times (1.00+0.1)$	6.32 m^3
砂基礎工	$\{(B4+B5)/2 \times H12$ -取付管断面積 $\} \times L6$	$\{(0.900+0.900)/2 \times 0.365-0.021\} \times 4.62$	1.42 m^3
発生土埋戻工 管頂10cm ～30cm	$\{(B5+B6)/2 \times H10\} \times L6$	$\{(0.900+0.900)/2 \times 0.20\} \times 4.62$	0.83 m^3
再生砕石埋戻工	$(B6+B7)/2 \times H9 \times L1$		m^3
良質土埋戻工			m^3
発生土埋戻工	$(B6+B7)/2 \times H9 \times L1$ $(B6+B3)/2 \times H11 \times (L7+0.1)$	$\{(0.900+0.900)/2 \times 0.595\} \times 3.52+(0.900+0.900)/2 \times 0.985 \times (1.00+0.1)$	2.86 m^3
残土処分工	掘削工-発生土埋戻工/0.9	$6.32-(0.83+2.86)/0.9$	2.22 m^3
As舗装切断工	$(L2-\text{影響幅}) \times 2$	$(3.52-2.40) \times 2$	2.24 m
アスファルト 舗装版取壊工	$(B9+B2)/2 \times (L2-\text{影響幅})$	本管付帯工で計上	m^2
As殻処分工	$(B9+B2)/2 \times H6 \times (L2-\text{影響幅})$	本管付帯工で計上	m^3
路面補修工			m^2
表層工	$(B9+B2)/2 \times (L2-\text{影響幅})$	本管付帯工で計上	m^2
上層路盤工	$(B8+B9)/2 \times (L1-W1)$	$(0.900+0.900)/2 \times (3.52-2.40)$	1.01 m^2
下層路盤工	$(B7+B8)/2 \times (L1-W1)$	$(0.900+0.900)/2 \times (3.52-2.40)$	1.01 m^2
取付管 土留工	簡易土留 H=2.00 $L1+L7$	3.52 + 1.00	4.52 m^3

(取付管数量調査 町道路盤全面復旧部 土留使用) 平成29年度 社会資本整備総合交付金事業 公共下水道管渠埋設工事 1 工区(単独分)

路線 番号	人 孔 番 号		所 有 者 名	官地延長	民地延長	水路等の減長	本掘削幅 の 1/2	取付位置	鉄蓋内 (重車)	鉄蓋内 (軽車)	標準蓋 φ200	汚水樹 横型	汚水樹 縦型	プレーン エンド直管 φ200	プレーン エンド直管 φ100	樹の深さ	有効樹深	ゴム製可換支管 φ150	自在曲管 φ150	S T曲管 φ150	可撓継手 φ150	備 考
	下 流	上 流																				
	No.	No.																				
793-2	810-1	793-2-1	瀬古 征弘(区画①)	4.00	1.00	2.40	0.48	左			1		1	0.69	0.16	0.90	1.40			1	1	
合 計	変 更																					
	当 初		1箇所	4.00 4.00	1.00 1.00	2.40 2.40	0.48 0.48				1		1	0.69 0.69	0.16 0.16	0.90 0.90	1.40 1.40			1	1	

建て込み簡易土留め工 取付管用

(L= 2.00 m)

(軽量型)

1) 設 計 条 件

1. 管 径 150 mm 2. 管 種 塩ビ管 3. 施工延長 4.52 m
4. 掘削方法 BH-0.28 5. 掘削幅 0.90 m 6. 掘削深 1.55 m
7. 土 質 (粘性土・レキ混じり土) 8. 締切延長 4.52 m
9. トラッククレーン規格 4.9 t 吊り

日数算出根拠 4.52m当り

2) 施工時間

1. 掘削時間の算定 (D1) = (L×W×H) ÷ Q

(D1) = (1.55 - 1.00) m × 0.90 m × 4.52 m ÷ 67.00 m³/日 =

2. 建込み簡易土留建込み時間の算定 (D2)

(D2) = (0.18 ÷ 10.00 m) × 4.52 m =

掘削工合計日数 ①+②

3. 基 礎 工 (D3)

基礎土量 = (0.90 m × 0.365 m - 0.021 m²) × 4.52 m =

(D3) = 1.39 m³ / 33.0 m³/日 =

4. 管布設工 (D4) (管 種 : 塩ビ管)

(D4) = 4.52 × 0.021 人/ m/日 = 0.09 日 ④

5. 引抜き埋戻し工 (D5) (機 械 転 圧 部 分)

埋戻し土量= 4.52 m × (1.55 m - 1.365 m) × 0.90 m = 0.75 m³

(D5) = 0.75 m³ ÷ 33.00 m³/日 = 0.02 日 ⑤

工 程 表

工 種	日 数	日 数
掘削及び建込み工	0.11	0.11
基 礎 工	0.09 0.13	0.04
管 布 設 工	0.11 0.20	0.09
引抜き及び埋戻し工	0.11 0.13	0.02
水 替 え 工		0.13

損 料 日 数 計 = 4.52 m ÷ 4.52 m × 0.18日 = 0.18日 × 1.3 = 0.23 日

1.39 m³ 水 替 日 数 計 = 4.52 m ÷ 4.52 m × 日 = 日

0.04 日 ③ 全 体 日 数 = 4.52 m ÷ 4.52 m × 日